

～みんなが暮らしやすい地域やまちづくりを目指して～

陸前高田市未来図会議だより

NO.5

2019/3/15 (金)



陸高★なでしこ会 発行



みんなが暮らしやすい地域やまちづくりを目指し、

今日よりも素敵な明日の有ることを信じて生き抜くために！！

陸前高田市未来図会議 No.90 リポート

2019/2/15(金) 13:30～、陸前高田市コミュニティホールの大会議室を会場に、今年度最後、第4回(震災後第90回)目の「陸前高田市未来図会議」が開催されました。今回のテーマは「はまかだを活かした おらほの地域づくり」で、28団体63名の参加でした。今回も、当市のはまかだ運動推進アドバイザーの佐々木亮平氏の進行で進められました。最初に保健課の佐藤保健師から未来図会議は健康や幸せを感じられるまちづくりに向けて開催し続けている旨の説明がありました。次に、地域包括支援センターの金野康子生活支援コーディネーターから国が進めている「地域支え合い活動推進事業」の考え方として、もともとある活動を活かしながら、支え合う力を組み合わせ、つながりや交流の場を広げていくことの大切さについて市内の活動の実際も含めてお話がありました。その上で、今年度から市がコミセン単位で1名ずつ委嘱している地域支え合い推進員の活動紹介を、2つの地区の方に発表をして頂きました

地域支え合い推進員って何？
どんなことをする人なの？

☆住んでいる地域の状況や困りごとだけでなく、できていることも把握し、地域のつながりや交流の場を広げることを一緒に行います。推進員は、高齢者に限らずと地域の皆さんを支える人、新たな支え合い活動を創出する支援を行いながら、地域の皆さんと共に考え、その地域らしい健康なまちづくりを進める人ですね。

NPO 法人 陸前高田まちづくり協働センター

生活支援コーディネーターの黄川田美和氏が下記のお二人のお話を紹介くださいました。

No.	発表者
1	地域支え合い推進員 下矢作 地区 菅野 わか 氏
2	地域支え合い推進員 広田 地区 菅野 タエ子 氏

◎昨年より推進員となり、活動してきている。

◎委嘱されて、自分の役割について考え続けてきた折に、県の研修に参加し、生活支援サービスに向けて活動すること、地域住民の支え合いのネットワークの構築をしていく事が、自分に与えられた仕事だと分かり、皆さんと協力しながら進めていこうと思った。

◎コミセンの役員に働きかけ、協議体設立についての共通理解を図った。

◎「自分の健康は、自分で守る姿勢」が、今後ますます求められることから当事業についての理解を共有し、協議体設置の目途も立った。

◎協議体設置後のステップに進めることが重要で、下矢作の人々の暮らしのQOLの向上に向け、努力していきたい。

3月からいきいき百歳体操を開始されたそうです♪

落ち着いて
インタビューを受ける
菅野 わか さん



意欲的に活動してきたことを話す
菅野 タエ子 さん



- ◎ご自分がメンバーとして活動している「広田町をより良くする教室」(昨年1月に広田民自協の勉強会として設立しスタート。今年度からは、コミセンの組織の中に位置付けられての活動となった。地域課題を共有し、解決策を探る取組み)について紹介があった。
- ◎コミセンの協議体には、地域の隅々からの声が届いていると思うが、問題点を見る場合の視点を決めている。それは、困りごとを言い合うだけの会にはせず、自分なりの解決策を発表し合う事にし、その発言には責任を持っていただくことにしている。
- ◎困ったことから、期待や知りたいことなども力にして、コミセン役員関係している教室やサロンの方々の協力をいただきながら、周囲の人達の幸せのために今後も努力していきたい。

発表の後は恒例のグループでの話し合い！本日のお題は、地域で支え合うために今何が必要か？そのためにできることって何？

みんなではまかだ(グループワークの話題紹介) ～話し合いの結果【抜粋】～

テーマ1:支え合いに必要なものって？

- ◎超高齢社会の実態を共有。介護者不足の危機感浸透！
- ◎サロンも、お茶会も支え合い！近場のかよい場が必須！
- ◎隣近所を気に掛ける習慣づけを！
- ◎若い世代へのサポートも必要！！お互いが支え合う事！
- ◎SOSの声を上げる勇気と、支える勇気を持つ事！！
- ◎サポートしたくても、気を使われる(高価なお礼がきがち)
- ◎自分から声をかける勇気を！！声掛けしやすい雰囲気
- ◎役員でも抱え込まずに、周囲の人に頼み分担する。
- ◎先ずは、お互いに挨拶。知らない人から、知っている人になる努力を！
- ◎地域支え合い推進員の活用について考えて、しっかりと働いてもらう！！
- ◎個人情報の壁を乗り越える努力。自主防災組織の活用

テーマ2:そのためにできることって？

- ◎躊躇わずに声掛け、おせっかい！声掛けスキルの学習！
- ◎向こう3軒両隣を気にする文化の復活を！！
- ◎時間やお金等、余裕を持てる取組みで、心に余裕を！余裕があれば、他者を思いやる心が出てくるのでは？
- ◎地域の中でその人の役割と居場所を補償する事が大事
- ◎気安く使える、安価なサービス提供のネットワークの構築
- ◎非被災場所でもサロンや、地域での楽しみが広がるような取り組みの企画実施
- ◎床屋さん、クリーニング屋さん、広田診療所の待合室も、はまかだの場所に有望！！
- ◎集まるためのルールの確認を！！
- ◎目的をはっきりさせる・駄目だししない・立ち上げて終わりにしない事・すすんで世話役に！！



今回も県外、市外からもたくさんの方々にご参加いただきました。ご参加いただきました方々、本当に有難うございました！

広田診療所 岩井先生がお話くださいます

★佐々木亮平先生による“本日のまとめ”
・地域支え合い活動推進事業は社会参加(はまかだ)により介護予防を進めていくための手段であり、困りごとや高齢者の問題だけを話し合うのではなく、また、誰かを動かすためやることではない。一人一人ができること通じて、他者とつながり、現実を受け止めつつ、自分なりにできることを、皆ではまかだしながら具現化していく事が大切である。

★未来図会議、2019年度は、4月開催！！次回は**2019/4/25(木)** 14:00～16:30
陸前高田市コミュニティホール大会議室 テーマ『本人も家族も地域も“良かった”と思える人生にするために(仮)』

★今回は、「自分の地域の問題は自分たちの手で」という方々にご参加いただいたのではと思います。特に、地域で活動されている方やコミセンの役員さん方等、社会資源とも言える方が多くいらしたように感じました。「陸高の未来も捨てたもんじゃなぞ！」と思いました。推進員さんを中心に日々できることから、ひとつずつ活動がなされることを期待します。(文責鈴木)